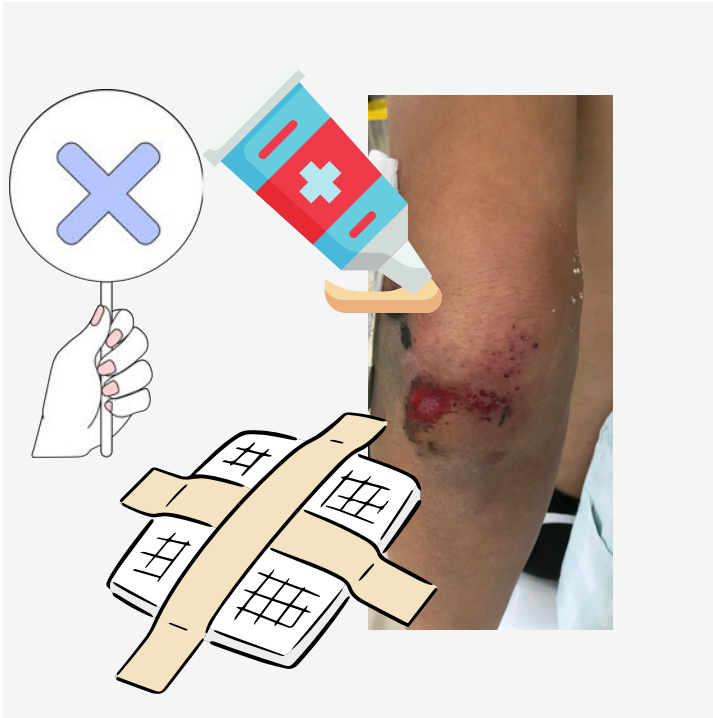


あまり知られていない 擦り傷の治し方



✓水道水できれいに治す

“傷には消毒をして、ガーゼを当てる”
実は間違った方法なんです。

化膿するのが怖くて消毒をしてしまいます。しかしその消毒では細菌を完全に殺すことができず、むしろ消毒により傷口の細胞が傷害され、傷が治ろうとするのを妨害してしまいます。

傷ができたら、水できれいに洗い流し（きっちりきれいにする）→軽く水気を拭き取る→傷口が乾かないように市販の創傷被覆材（ハイドロコロイド製品）で覆います。

✓ハイドロコロイド製品？

傷口から染み出してくる体液を閉じ込めて
傷の自己治癒を早くする衛生材です。

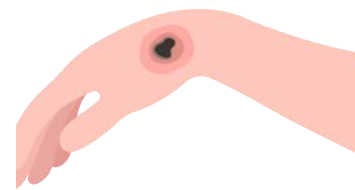


個人的には、比較的安価な“みなさまのお墨付き”商品がおすすです。

✓かさぶたができたなら治る？

小さい頃にかさぶたができたなら傷が治ってる証拠！あまり触ったらダメ！と言われてきた人も少なくないはず。

かさぶたは乾いて固まってしまうと、傷の治癒を阻害するため、かさぶたができないようにするのが大切です。また、かさぶたの周りに赤く熱を持っている場合はかさぶたの裏にばい菌がまだ存在している事が多いです。



大きなかさぶたには要注意を！！

編集後記

傷は大小関係なく細菌感染すると発熱やひどくなると化膿した場所を切開して入院となります。初期段階できちんと手当しておきましょう。もちろん深い切り傷や犬や動物に噛まれたときは速やかに医療機関に受診しましょう。